

Vol.70



# 素心

発行 / 社会福祉法人 素心会  
責任者 / 事務局長 高瀬 尚人  
〒 259-0103  
神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1  
TEL : 0463-71-1255  
印刷 / 貴峯荘ワークピア  
2021年 12月発行

- ・ 新職員紹介
- ・ 「雲外蒼天」
- ・ 家族ペンリレー
- ・ 利用者の作品
- ・ 虫窪24番地
- ・ トレーラーハウス



制約と我慢の中で大切にしたのは  
私たち支援員の笑顔です。



# 【素心学院】利用者の作品と寮内飾り付け



初音寮では支援員と一緒に  
お花などの飾りつけを作成



土曜日は居室で絵画タイム！  
石田枝里子さんの作品です！



聖雪寮の利用者さん達全員  
に描いてもらいました！

新型コロナウイルスの流行により、外出や行事は縮小・自粛せざるを得ず今までと同じ生活が難しい状況が続いています。そんな中、支援員も試行錯誤し少しでも寮内が明るくなるよう日々考えています。素心学院ではイベント時や普段の寮の中も、明るく飾り付けられています。また利用者も日中活動や休日などの自由な時間を使ってそれぞれ味のある作品をたくさん生み出しています。それらを活かしお部屋や寮内の飾りつけをしています。各寮の素敵な飾り付けや作品の一部を紹介したいと思います。

素心学院 支援二課 そうのすみえ 莊埜澄英



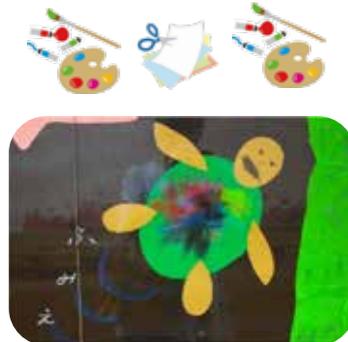
白嶺寮では七夕の飾りつけを  
支援員と一緒に作りました



初音寮の色鮮やかな寮内飾り付け！



白嶺寮の羽深さんの絵画を  
並べました！



聖雪寮ならではのハロウィン



## ～みんなの笑顔と素敵な作品紹介！～



舟木さんが作ったガラスに貼る飾りをみんなで貼っている様子です！



西山さんが職員を描いてくれました！



日比野さんの作品！  
アンパンマンのキャラクターたちです。

## トレーラーハウス



新型コロナウイルス感染症の第1波（令和2年4月～5月）を乗り越えたころ、長い戦いに備え、素心会はトレーラーハウスの購入を決めました。

利用者に発熱者が出た場合、PCR検査等の結果がでるまで一定の時間や日数がかかります。「陽性かもしれない」期間を集団の中でどのように過ごしたらよいか大きなテーマとなり、動揺が広まることもしばしばあります。また、国からは「入所施設やグループホームの利用者が新型コロナウイルス感染症に



罹患した場合、入院ではなく当該施設内で療養することが基本になる」と言われており、感染防止策はもとより、万一陽性者が発生した場合と、陽性者を抱えながらの集団生活の維持を想定し、できる限りの準備をと考えてきています。

このトレーラーハウスは、素心デイセンターに設置しました。6つの簡易ベッド、ミニキッチン、トイレ・シャワー、冷暖房等生活するための設備が備わっています。素心デイセンター利用者が発熱した場合は、速やかに集団から離れ静養、待機することができます。まだ事例はありませんが、グループホーム等で万一陽性者が出た場合にもトレーラーハウスで集団から離れ療養することができます。未だ新型コロナウイルス感染症の出口は見えませんが、このトレーラーハウスがあるとないとは、大きな違いがあると感じています。



素心デイセンター 所長 小野田俊樹

～コロナに負けない 暗い雲の外に広がる青空を待ち望む～

うんがいそうてん

# 雲外蒼天

～地域支援センターそしんの取り組み～



児童発達支援  
「菜園の水やりをしました」



児童発達支援  
「手づくりのお神輿を担いで夏祭りの気分を味わいました」



児童発達支援  
「日々の療育活動にて」



相談支援  
「日常を取り戻すために力を合わせます」



児童発達支援  
「七夕に願いを込めて」



放課後等デイサービス  
「目指すは未来のオリンピック?」



生活介護  
「夏祭りといえば…ヨーヨー釣り!」



放課後等デイサービス  
「今年は良い年になりますように」



放課後等デイサービス  
「職員に素敵な髪飾りのプレゼントを作ってくれました」



生活介護  
「押し花づくりに挑戦」

# 家族ペンリレー

富永<sup>はな</sup>花菜さん（素心デイセンター）・母 亜弥子さん



19年前の11月、予定より早かったものの普通に生まれた花菜。

『はな』という響きが良くて名付けたのですが、漢字だと

よく『かな』と読み間違えられました。しかも家の前を通るお散歩犬にも結構『ハナちゃん』が多くて（笑）…。でもそのおかげで？どこに行ってもすぐに覚えてもらえました。

1歳前健診で発達遅滞、3歳で知的障がいと判定され、アグネス園→湘南養護学校、平行して放課後は地域支援センターそしんで15年間、親子共々大変お世話になりました。

新しい環境が苦手で、慣れるまではかなり時間がかかりました。言葉が出ないので気持ちを伝える事が難しく手が出る、物を投げるなど、暴れん坊でした。



そんな中、人の動きをよく見ていて、自分の事はさて置きお友達の世話を焼く優しい（お節介な）一面もあります。

テレビから音楽が流れると体を揺すってリズムをとり、トーマス、笑点、特にマラソン中継はなぜか大笑いしながら見ているし、パズルが得意で絵柄ではなく形を見て手に取るなり躊躇なく次々と置いて行き大人でも悩む80ピース以上を短時間でサクッと完成させるし、円形ならばどんな厚さの物（鍋のフタやガムテープ）も上手に転がす事ができるしコントロールも抜群に良いと…気分が乗っているときの記憶力と集中力は驚きです。

まだまだ色々な可能性を秘めているのでは？この先もすごく楽しみな花菜ですが、これからも宜しく願い致します。



## 虫窪24番地

人間は生まれた時から人権を有し、生きる権利が保障されている。それは肌の色や障害の有無を問わず、万人に等しいものである。人が人として生きていく中で何を幸福に感じるか、厳しい現実の中で自分の人生をどのように切り開いてくのかを問うた時、私自身は自然と福祉の道を志していた。現場では日々の支援に携わる中で、技術的、精神的な多くの面で自身の無力さを痛感しながらも、利用者さんと触れ合う体温や流れる時間が煌めく瞬間に、幾度も心が震え、自らの存在を肯定してくれる機会を得られた。人の人権を保障するという事は命を守るという事である。その厳しさや過ごす時間の尊さを心に留め、支援者として今後も邁進していきたい。そして、感染症の蔓延により世の中が激変する中でも生きる力と希望を持ち続ける意味を握りしめ、今日を迎えられる奇跡や素心会に関わる全ての人の人生が未来へと繋がるように歩みを止めずに進んでいきたい。

地域支援センターそしん

地域支援課 西山 <sup>のぞみ</sup> 希

## グラウンドの街路灯にフラッグがはためいています

素心デイセンターグラウンドに新しく街路灯を設置した際に、日本街路灯製造株式会社の提案によりフラッグを付けることにしました。1枚は素心会のロゴマークをあしらった爽やかなライトグリーンのもの、もう1枚は色とりどりの花々が集まりハート形の木となっている素敵なデザインです（日本街路灯製造株式会社担当者がデザイン）。グラウンドに入るとまず目に入る2枚のフラッグが、新たなシンボルとして今日も風にはためいています。

素心デイセンター 1班2班リーダー 中嶋和弘



## 新職員紹介

法人事務局 総務課 湯澤樹里



6月から法人事務局総務課に配属となりました湯澤樹里と申します。前職とかけ離れた職種で最初は不安と戸惑いがありました。まわりの先輩方が優しく教えてくださり少しずつですが環境にも慣れてきました。今はコロナ禍のため利用者の方との交流がないので、名前は覚えても顔がわからない状況ですが、そんな中でも利用者の方が私の顔や名前を覚えてくれて窓越しで手を振ってくれるのがうれしいです。早くコロナが落ち着いて平和に過ごせる日が訪れることを心待ちにしています。至らない点も多々あるかと存じますが、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

## 素心会後援会会員募集



会費は個人一口、年1,000円から  
法人・団体一口、年10,000円から  
会員には、新聞「素心」をお送りします。

会費の納入先

銀行振込 中南信用金庫国府支店 014-0139723  
郵便振替はどこの郵便局でも 00270-0-19507

口座名 社会福祉法人素心会後援会会長 鈴野七郎  
※新しく会員になる方は、ご住所を電話等でお知らせいただくようお願いします。

事務局 〒259-0103 神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1  
TEL: 0463-71-1255 FAX: 0463-73-0009



素心会ホームページ  
QRコード